

# 令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

<b>主要課題</b>	No. 49	災害に強い都市基盤の整備
-------------	--------	--------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ● 主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	だれもが安全に安心して過ごすことができる災害に強い都市基盤の整備が推進されている。
計画期間の方向性	<p>○安全・安心なまちづくりの推進 住宅等の耐震化の促進や不燃化、細街路の拡幅整備等を進めるとともに、建物等の所有者が主体的に耐震化等に取り組めるよう、必要な支援を行います。また、再開発事業や地区計画などを活用し、安全・安心なまちづくりを推進します。</p> <p>○都市の防災機能の強化 橋梁の予防保全や道路の無電柱化等を推進することで、災害時における道路網の安全性やライフラインの安定供給を確保するなど、都市の防災機能の強化を図ります。</p>

## 0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）

安全・安心なまちづくりを推進するため、セミナーなどによる不燃化特区事業等の普及啓発や、旧耐震基準の建築物の所有者を対象とした戸別訪問による耐震化促進など、各助成事業の更なる活用促進を図るとともに、地区まちづくりや再開発事業を推進していきます。

ブロック塀等改修については、引き続き、戸別訪問等により、ブロック塀の改修状況等を確認しながら周知啓発を行っていきます。

また、都市の防災機能の強化に向け、緊急輸送道路から避難所等までを結ぶ短区間の緊急道路障害物除去路線（ラストマイル）の電線共同溝本体工事及び引込管路工事等に着手するほか、橋梁アセットマネジメント基本計画に基づき、染井橋の補修工事に向けた関係者との協議を進めます。

さらに、公園の防災機能の向上を図るため、各公園の再整備工事にあわせ、かまどベンチやマンホールトイレの設置等の検討を行っていきます。

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

## 1 どのような事業で・何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割	事業費(千円)
	地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地における防災性の向上を図る。	21,112千円 (31,157千円)
主な取組実績				
147	R1(2019)	地区の特性を生かした地区計画の策定に向けて、地権者と協議等を行いました。防災面や低未利用地などの課題があるまちにおいて、課題を解消するために様々な都市計画事業の検討を行いました。まちづくりの支援活動として、まちづくり協議会にコンサルタント派遣を実施しました。		
	R2(2020)	地区の特性を生かした地区計画等の策定に向けて、地権者と協議等を行いました。後楽二丁目地区では、整備指針の改定に向けて検討を行い、地区全体の防災対応力を強化する方向性を示しました。		
	R3(2021)	地区の特性を生かした地区計画等の策定に向けて、地権者と協議等を行いました。後楽二丁目地区では、整備指針の改定を行うとともに、後楽二丁目北・北西地区しゃれ街等検討会を設立し、防災対応力の強化に向けた方策について検討しました。		
	R4(2022)	地区の特性を生かした地区計画等の策定に向けて、地権者と協議等を行いました。後楽二丁目地区では、後楽二丁目北・北西地区しゃれ街等検討会を開催し、地区全体の防災対応力の強化に向けた方策について検討しました。		

148	<b>再開発事業の推進</b>		地域整備課	防災性の向上、土地の合理的な高度利用及び都市機能の更新を図る。					296千円 (326千円)
	主な取組実績								
	R1(2019)	春日・後樂園駅前地区の市街地再開発組合に対して適宜助言を行い、関係機関との協議を行う等、事業を推進し、市街地の防災性の向上を図りました。令和元年度は建築工事を実施し、南街区の建物の工事が一部完了し、引き渡しを行いました。							
	R2(2020)	春日・後樂園駅前地区の市街地再開発組合に対して適宜助言を行い、関係機関との協議を行う等、事業を推進し、市街地の防災性の向上を図りました。令和2年度は建築工事を実施し、北街区、南街区の工事完了部分について、引き渡しを行いました。							
	R3(2021)	春日・後樂園駅前地区の市街地再開発組合に対して適宜助言を行い、関係機関との協議を行う等、事業を推進し、市街地の防災性の向上を図りました。令和3年度は建築工事を実施し、南街区の工事完了部分について、引き渡しを行いました。							
R4(2022)	春日・後樂園駅前地区の市街地再開発組合に対して適宜助言を行い、関係機関との協議を行う等、事業の推進し、市街地の防災性の向上を図りました。令和4年度は南街区の建築工事をを行いました。								
171	<b>耐震改修促進事業の推進</b>		地域整備課・建築指導課	建築物の耐震化を促進する。					63,627千円 (540,273千円)
	主な取組実績								
	① 耐震化促進事業(診断・設計・工事等の助成)		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	② 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業		件	48	75	48	66	55	
	② 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業		件	4	3	2	0	1	
R1(2019)	普及啓発事業として、建築物の耐震化を検討されている方を対象に耐震セミナー及び相談会等を開催しました。また、耐震化アドバイザーを対象建築物に派遣し耐震化に関する相談及び助言を行いました。								
R2(2020)	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催できた相談会は1回のみですが、パネル展示をするなど実施の仕方を工夫しました。また、耐震化アドバイザーの派遣に力をいれ、9件の実績がありました。								
R3(2021)	普及啓発事業として、建築物の耐震化を検討されている方を対象に耐震セミナー及び相談会を開催したほか、過去の相談会出席者や診断・設計助成申請者のうち改修工事を行っていない建物所有者に対し、161件の戸別訪問を行いました。								
R4(2022)	普及啓発事業として、耐震セミナー及び個別相談会等を開催しました。また、昭和56年以前の住宅所有者へ意向調査及び戸別訪問希望調査としてダイレクトメールを755人に送付し、意向調査については145件の回答がありました。戸別訪問希望は44件あり、建築士による訪問を実施しました。								
172	<b>不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進</b>		地域整備課	建築物の不燃化等の整備を促進し、地域の防災性の向上を図る。					27,689千円 (98,205千円)
	主な取組実績								
	① 各種助成(建替え・除却・住替え)		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	② 専門家派遣		件	14	14	21	3	2	
	② 専門家派遣		件	9	7	0	2	3	
R1(2019)	不燃化特区事業実施地区で木造建築物の建替えや除去を検討されている方を対象に、相談窓口として総合相談ステーションを開設しました。								
R2(2020)	令和3年度以降も不燃化特区の指定を受けました。現在も不燃化を必要とする地区が残ることから、積極的な普及啓発及び支援を行っていくため、東京都の政策連携団体と協議を行いました。								
R3(2021)	都の政策連携団体と協定を締結し、不燃化に関する積極的な普及啓発を図るとともに、不燃化特区事業実施地区内の木造建築物所有者を対象に、808件の戸別訪問を連携して行いました。								
R4(2022)	普及啓発事業として、不燃化セミナーをテーマ別に全6回開催しました。また、令和3年度に実施した戸別訪問において、不燃化特区制度利用意向のある権利者15件へ再度訪問し、建替え助成3件及び専門家派遣1件の申請につなげました。								
173	<b>細街路の整備</b>		地域整備課	緊急車両の乗り入れや避難ができる道路幅員を確保する。					311,287千円 347,997千円
	主な取組実績								
	① 細街路拡幅協議		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	② 細街路の拡幅整備		件	239	245	200	238	225	
③ 工事費の助成		件	210	198	222	188	165		
③ 工事費の助成		件	15	10	12	16	7		
159	<b>崖等整備資金助成事業の推進</b>		地域整備課	水害等の災害による擁壁崩壊等の被害を未然に防止する。					7,262千円 (46,912千円)
	主な取組実績								
① 擁壁の築造に係る工事等の助成		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	
① 擁壁の築造に係る工事等の助成		件	1	1	3	2	4		

174	ブロック塀等改修等の促進	地域整備課・建築指導課	ブロック塀等の倒壊による被害を防止する。					680千円 (6,767千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 撤去設置費の助成		件	8	6	9	2	2	
② ブロック塀所有者に対する普及啓発活動		件	67	96	1,351	377	729		
142	無電柱化の推進	道路課	災害時における電柱倒壊の予防や、電気などの安定供給等、防災機能の強化を図る。					262,706千円 (451,949千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 日医大つつじ通りの無電柱化事業進捗率		%	18.2	27.3	36.4	44.3	52.3	
	② 巻石通り（第一期）の無電柱化事業進捗率		%	20.0	30.0	40.0	48.5	57.1	
R3(2021)	無電柱化の整備については、埋蔵文化財調査等により、一部遅れが生じています。								
175	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	地域における道路網の安全性と信頼性を確保する。					465,551千円 (478,155千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① お茶の水橋補修補強工事進捗率		%	25.0	37.5	50.0	62.5	75.0	
② 後楽橋補修補強工事進捗率		%	—	—	—	25.0	50.0		
143	公園再整備事業	みどり公園課	公園に延焼防止機能や防災機能を整備する。					652,866千円 (720,330千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 公園再整備工事		園	7	2	4	6	4	
② 園内の防災機能の充実（かまどベンチ・マンホールトイレ等）		箇所	11	12	0	3	3		
201	元町公園整備事業（旧元町小学校との一体的整備）	みどり公園課	公園に延焼防止機能や防災機能を整備する。					200,562千円 (156,933千円)	
	主な取組実績								
	R3(2021)	令和3年10月、「旧元町小学校と元町公園との一体的活用事業」に関する区民説明会を実施しました。また、文京区立元町公園整備事業設計等委託による基本設計、実施設計を進めています。							
R4(2021)	令和4年7月に実施設計が完了し、令和5年3月に「元町公園整備計画」に関する区民説明会を実施しました。また、令和5年3月に工事議決し、着手しました。								
144	公衆・公園等トイレ維持事業	みどり公園課	災害時に使用可能なトイレの整備を推進する。					54,976千円 (51,503千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 公衆・公園トイレ整備工事		箇所	5	2	5	2	4	
●特記事項（実績の補足）									

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
新型コロナウイルスにより、まちづくり事業の推進に影響がありました。また令和2年に国土交通省より示された「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」を踏まえたまちづくりを検討します。		

### 3 現総合戦略における成果や課題は何か (点検・分析)

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じていないか」などを点検・分析します。

#### ○安全・安心なまちづくりの推進

耐震改修促進事業では、助成制度により耐震化を促進し、防災機能の向上に努めてきました。意向調査の結果によると、耐震化を考えていない人が多く、助成事業についての認知度も低かったため、引き続き普及啓発を続けていく必要があります。

不燃化特区事業では、都の政策連携団体と協定を結び、不燃化特区事業実施地区内における災害に強いまちづくりに取り組んできました。令和7年度までの事業のため各種助成制度や支援制度の周知をより進めていく必要があります。

崖等整備資金助成事業では、例年数多くの問合せや相談があるので、崖・擁壁の整備につながるようサポートをしていく必要があります。

また、春日・後樂園駅前地区の再開発事業では、不燃化された建築物や公共空間の整備を進め、工事が完了した区域から段階的な利用を開始しています（6年12月事業完了予定）。

#### ○都市の防災機能の強化

建物の不燃化や耐震化の促進、崖・擁壁の整備により防災機能の強化を図りました。

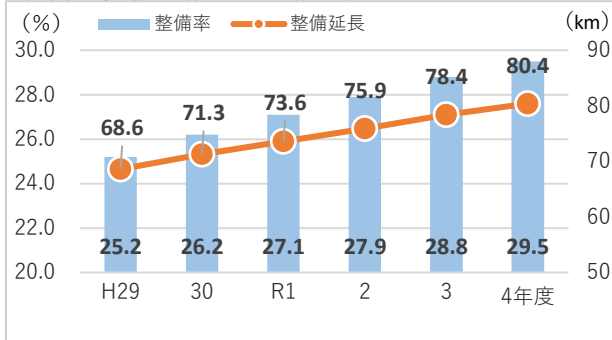
通学路沿道の危険度が高いブロック塀等は、平成30年度の調査から178箇所減少しましたが、まだ、1,068箇所残っています。引き続き、所有者等に適切な維持管理及び改修等を働きかけるとともに、30年度の調査で危険度が低かった3,613箇所についても再調査し、危険度が高くなっていないか確認する必要があります。

日医大つつじ通り、巻石通り、根津小学校前及び駕籠町小学校前の区内4路線において、電線共同溝整備事業を進めているところですが、長期間に及ぶ工事のため、適切な工程管理を行う必要があります。

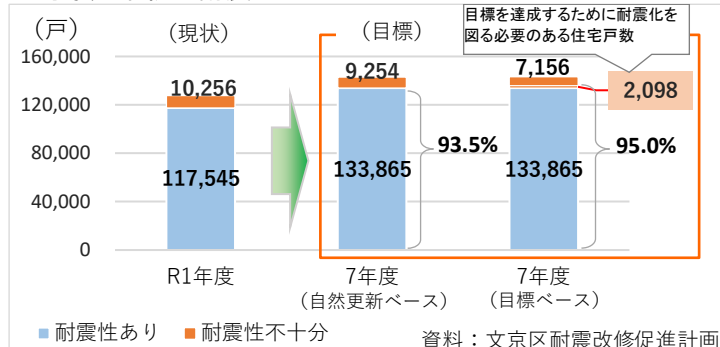
また、橋梁アセットマネジメント基本計画に基づき、駒塚橋の補修工事及び染井橋の補修設計を実施しました。

さらに、公園再整備を行う中で、かまどベンチの設置やマンホールトイレの設置を行い防災機能の向上を図りました。

#### ●細街路拡幅整備率・整備延長



#### ●対象建築物の耐震化



### 4 次期総合計画において、どのように進めていくか (展開)

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

安全・安心なまちづくりを推進するため、セミナーなどによる不燃化特区事業等の普及啓発や、昭和56年5月31日以前に建築された建築物の所有者を対象とした戸別訪問による耐震化促進など、各助成事業の更なる活用促進を図るとともに、地区まちづくりや再開発事業を推進していきます。

ブロック塀等改修については、引き続き、戸別訪問等により、ブロック塀の改修状況等を確認しながら周知啓発を行っていきます。

都市の防災機能の強化に向け、区内4路線の電線共同溝工事を着実に進めていくとともに、常に事業の課題を整理し、検証しながら今後のあり方を検討していきます。また、橋梁アセットマネジメント基本計画に基づき、染井橋の補修工事を進めていきます。

さらに、公園再整備工事にあわせて、施設の耐震化を図るとともに、マンホールトイレやかまどベンチの設置を検討していきます。

## 5 6年度、事業をどうするか（事業の見直し）

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
147	地区まちづくりの推進	地域整備課	継続
148	再開発事業の推進	地域整備課	継続
171	耐震改修促進事業の推進	地域整備課・建築指導課	レベルアップ
172	不燃化推進特定整備地区（不燃化特区）事業の推進	地域整備課	継続
173	細街路の整備	地域整備課	継続
159	崖等整備資金助成事業の推進	地域整備課	継続
174	ブロック塀等改修等の促進	地域整備課・建築指導課	継続
142	無電柱化の推進	道路課	継続
175	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	継続
143	公園再整備事業	みどり公園課	継続
201	元町公園整備事業（旧元町小学校との一体的整備）	みどり公園課	継続
144	公衆・公園等トイレ維持事業	みどり公園課	事業終了（R5年度）